



一般社団法人
日本在宅薬学会

いよいよ実践のフェーズへ。

今、わたしたち医療人が連携し、
新しい薬剤師像と
「在宅薬学」を追求します。



一般社団法人
日本在宅薬学会



一般社団法人 日本在宅薬学会

Contents

超高齢社会の地域医療は 要介護高齢者の薬物治療がメインとなる	2
バイタルサイン講習会	4
インストラクター講習会・ディレクター講習会・ エヴァンジェリストセミナー	6
漢方薬認定講師育成セミナー	8
学術大会	10
在宅療養支援認定薬剤師制度	12
パートナー制度	14
e-ラーニングサービス	16
会員様の声	18
一般社団法人 日本在宅薬学会 入会のご案内	19

超高齢社会の地域医療は 要介護高齢者の薬物治療がメインとなる ～高まりつつある「在宅薬学」の重要性～

高齢化率が25%を超えた日本。2025年には団塊の世代が後期高齢者に入ることもあり、今後10年ほど日本の地域医療は大きく変わるはずです。
多くの患者さんが、ご高齢で介護を受けながらお薬による治療を受ける時代がもうすでに到来しています。
劇的に変わりつつある医療ニーズにきちんと応えたい。
その思いを胸に私たちは、現場に軸足を置きつつこれからの新しい医療連携の形を実践して参ります。

在宅療養支援

「超高齢社会」と「医療費の適正化」という二つの相反するテーマは、日本の医療の形態を大きく変えつつあります。特に、患者さんの療養の場は、医療機関から在宅・介護施設へとシフトしてきました。入院と異なり、在宅・介護施設では医療のみならず生活全般のサポートも必要です。限られた社会医療資源をどのように組み合わせ、活用していくのか。私たちは「医療の全体最適」という観点から、柔軟な発想を持ちつつ医療の現場で実践して参ります。



薬局・薬剤師の可能性

高齢者医療では、認知症・独居などもあり患者さんご自身がお薬を正しく服用することは困難です。また、医師が患者さんの状態に合わせた最適な用法・用量で処方することや、副作用の存在を考慮しながら患者さんの状態を正しく判断し処方することも容易ではありません。
私たちは、薬局や薬剤師が従来とは異なる概念を持ち、「在宅薬学」とも言うべき分野を確立すべき時期が来ていると考えます。

共同薬物治療管理

薬学教育が6年制になり薬剤師の概念が変わりました。それに伴い医師が処方し薬剤師が調剤する、という医師・薬剤師関係も変わっていくはずですが、そのヒントは「共同薬物治療管理」という概念です。
これからの薬剤師に必要なのは、医療薬学・医薬品の知識に加え、患者さんがどのような状態にあるのかを示すバイタルサインです。この3つをもとに薬剤師らしいフィジカルアセスメントを行うことができれば、医師との「共同薬物治療管理」が可能になります。



薬剤師の変革は 医療崩壊への解の一つになる

薬剤師は医師の処方箋に基づき、正確・迅速に調剤し的確な服薬指導とともにお薬をお渡しするという業務に専念してきました。このような業務は非常に重要ですが、薬剤師の職能は不明瞭になりがちです。

一方、超高齢社会の地域医療という観点では薬剤師の職能は大きく広がります。今後は、一般の外来処方箋調剤、高齢者の在宅療養支援に加え、これらの経験を経て体得した知識や技術をもとにすれば、一気に増大する外来化学療法へ薬剤師が参画していけるはずです。薬剤師のキャリアプランも豊かになっていくでしょう。

当会の活動が薬剤師の変革へとつながり、医療崩壊への解の一つとなることを確信しています。

一般社団法人 日本在宅薬学会 理事長
はぎ ま けん し
狭間 研至



バイタルサイン講習会



**2,800を超える薬局・病院から
4,000名を超える薬剤師が受講!**

※2017年9月現在

**このままでいいのか、と思っていた。
でも、きっかけが見つからなかった。**

バイタルサイン講習会では、そんな漠然とした気持ちを持つ薬剤師の方々の『薬剤師としての生き方』に劇的な変化を実感していただいています。フィジカルアセスメントを実践するツールとして、一人でも多くの薬剤師の方に受講していただきたいと思います。



◆バイタルサイン講習会 基本構成

【基本内容】※開催時間は変更になる場合もあります

13:00 ~ 13:10 オリエンテーション(自己紹介)

13:10 ~ 15:00 講義 「薬剤師とバイタルサイン」

スライドを使用し、バイタルサインの意義や課題を説きます。

「バイタルサイン各論」

血圧・呼吸・脈拍・体温・意識レベル・尿量について、バイタルサインチェックの目的を入れながら講義を行います。

15:00 ~ 15:15 休憩

15:15 ~ 17:00 実技 ロールプレイ

(器具の使用法や測定方法)

バイタルサインの実技を行います。実務指導者が手本を示し、受講者が聴診器や各項目のチェック方法をマスターするまで分かりやすく指導します。

17:00 ~ 17:05 試験

17:05 ~ 17:50 講義 「バイタルサインの本当の意義」

17:50 ~ 18:00 修了証授与

【受講料】

お一人様 ¥27,000(税込)

※理事長出張開催の場合は受講料が異なる場合があります

【持ち物・服装】

試験がありますので筆記用具をご持参ください。服装の指定は特にございませんが、聴診をしますので開閉しやすい服装でお越しください。

【提供資料・教材】

- ・バイタルサイン講習会講義資料
- ・書籍「薬剤師のためのバイタルサイン」(南山堂/狭間研至著)
- ・書籍「外科医、薬局に帰る」(薬局新聞社/狭間研至著)
- ・居宅療養管理指導 関連書類のご案内
- ・聴診器(リットマン社製 または ケンツメディコ社製)

※万一在庫切れが発生した場合、ご希望の聴診器をご提供できない場合もありますのでご了承ください

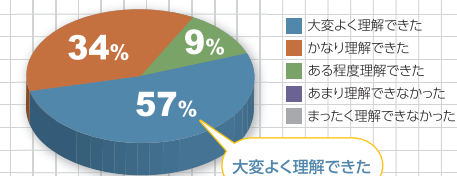
【修了証】

バイタルサイン講習会を修了された方に修了証をお渡しします。

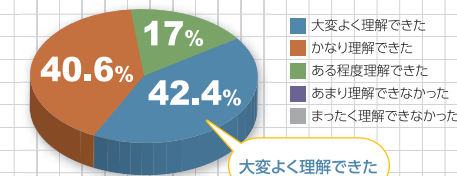
アンケート結果

北は北海道から南は沖縄まで、日本全国47都道府県の薬局・病院・大学などの様々な医療従事者の方が、バイタルサイン講習会を受講しています。アンケート集計結果でも、かなりご満足いただいていることが分かりました。

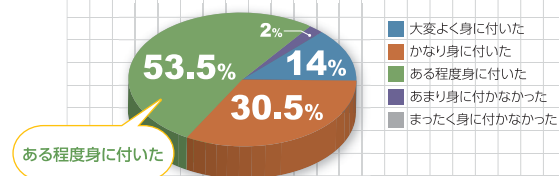
Q1 薬剤師と在宅医療について理解できましたか?



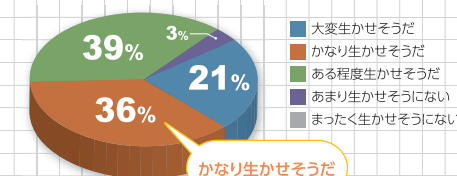
Q2 バイタルサインについて理解できましたか?



Q3 実技は身につきましたか?



Q4 今後、この実技で身に付けた技術を実際、生かせそうですか?



講習会のお申込みはホームページから!

<http://jahcp.org/>

日本在宅薬学会

検索

※講習会は座席に限りがございますので、お早めにお申込みください ※掲載している統計データは2016年8月現在のものです

インストラクター講習会 ディレクター講習会 エヴァンジェリストセミナー

日本全国で770名以上のインストラクター、
430名以上のディレクター、
280名以上のエヴァンジェリストが活躍しています！

※2017年9月現在

医療改革をすすめるための 学びを深め、手技を熟知する。

バイタルサイン講習会を受講された方を対象に、次のステップとしてインストラクター講習会、ディレクター講習会を行っています。

「教えることは最高の学びである」という理念に基づき、インストラクター講習会では、バイタルサイン講習会のインストラクターを育成しています。バイタルサインチェックを指導する上で必要な要点を正しく理解していただける内容となっております。

インストラクター講習会を2回受講していただいた方は、ディレクター講習会へご参加いただけます。講習会を修了するとディレクターと認定されます。

ディレクターになるとエヴァンジェリストセミナーへの参加が可能となり、プレゼンテーション技能などを学び、自らバイタルサイン講習会を開催することができる「エヴァンジェリスト」としてご活躍いただくことができます。

◆3段階のステップアップとエヴァンジェリスト

step 1 バイタルサイン講習会

バイタルサインの意義を学び、実技実習も行います。実務指導者が手本を示し、聴診器や各項目のチェック方法をマスターするまで分かりやすく指導します。

step 2 インストラクター講習会

講義ののち、実際にバイタルサイン講習会のインストラクターとして実技指導していただきます。合計2回のインストラクター講習会を受講後、ディレクター講習会の受講資格を得ることができます。

step 3 ディレクター講習会

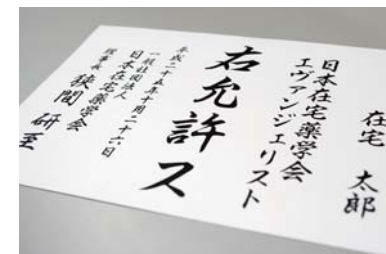
講義、実技復習、テストを行います。テストに合格すると「認定証」を授与され、ディレクターとなります。

Ex step. エヴァンジェリストセミナー

エヴァンジェリスト バイタルサイン講習会を、自分の手で。

バイタルサイン講習会の3段階のステップを修了すると、新たに設定された「エヴァンジェリストセミナー」への参加が可能となります。

知識・技能を得たディレクターの皆様は「プレゼンテーションの技術」をお伝えし、より多くの皆様にバイタルサイン講習会でイノベーションを感じていただくために「エヴァンジェリスト」を目指していただきます。



Director's Voice

エヴァンジェリストとしてご活躍中の岸雄一氏。エヴァンジェリスト認定から数多くのバイタルサイン・インストラクター講習会を開催されています。

「薬物療法の個別最適化による医療の質の向上を」

医療法人嘉健会 思温病院 薬剤部 薬剤部長 岸 雄一



— ディレクターになろうと思った理由は？

「薬剤師としての使命を、すべての薬剤師が実践する」

一つは狭間理事長の想いに共感したこと、もう一つはこれからの若い薬剤師に道を拓きたいと思ったことです。そのために自分に来ることは、ディレクターになって自ら講習会を開催することだと思いました。これまで薬剤師はいかに正確に早く調剤するかを重要な仕事だと考え、調剤過誤と待ち時間の対策に知恵を絞ってきました。これが不要だとは思いません。ただそれだけで良いのでしょうか？バイタルサイン講習会ではその答えが導きだされます。薬剤師の使命は、薬物療法における医薬品の適正使用と医療安全の確保です。その一つに正確で早い調剤も含まれると思いますが、他にもやらなければいけないことが沢山あります。薬剤師にとって調剤・服薬指導をして薬歴を書けば調剤行為は終わるかもしれませんが、患者さんは薬剤師から薬を受け取り、服用してからが本当の薬物療法なのです。しかし現状ではここに薬剤師がいない。これで良いわけないですよね。薬を服用している患者さんのバイタルを薬剤師がチェックすれば、薬物療法の効果確認や医薬品の副作用を未然に防いだり、早期発見したり出来るじゃないですか。これが医薬品の適正使用と医療安全の確保です。これを全ての薬剤師が実践することを目指して、ディレクターとして伝えていくため、考えて動く【考動】をしています。

— 実際ディレクターになってみていかがですか？

「全国にネットワークが広がった」

知人が増えました(笑)。北海道から沖縄まで、ネットワークが広がりました。ディレクターになっていなければ、知り合えなかったであろう人々です。しかもそのほとんどがバイタリティー溢れる人です。こうした人々と一緒に、フィジカルアセスメント・共同薬物治療管理の実現に向けて努力しています。もっともっと、このネットワークを広げたいと思っています。ぜひ仲間になって、日本の医療と一緒に変えていきましょう！

— 理想の薬剤師の姿は…

「主役」になる、決断する薬剤師を目指す

ずっと薬剤師が主役のドラマを作りたいと思ってきました。医療をテーマにした映画やドラマの主役は医師や看護師ばかりで、薬剤師といえば脇役にすら出てこないものも多いですよね。医師の指示通り調剤をしているだけでは、ストーリーは成り立ちません。主役もはれる仕事を薬剤師がすれば、いずれ誰かが本に書いたり映像化したりしてくれると思います。薬剤師が使命を全うし患者さんのために決断するようになれば、ドラマチックな展開になるんじゃないかと思えます。自分の決断が患者さんの人生を変えることになる、責任重大ですがやりがいのある仕事ですね。そんな薬剤師が理想です。

「最後に」

バイタルサインをチェックすることは、患者さんの状態を確認するもっとも簡単な手段だと思います。医師や看護師が採取したバイタルデータを活用することは、効率化を考えると有効です。使えるものは大いに活用すべきだと思います。ただ自身で決断を下すべき時、他人のデータだけでいいのでしょうか？もしも自分が予測していなかった結果を看護師から聞かされた時、私なら間違いないか確認の意味で再度、自分でバイタルを取らせてもらいます。特に聴診音は感覚に左右される要素が多いですから、自分で確かめるのが最良です。判断の度合いが大きくなればなるほど、他人任せにせず自分自身で患者さんの状態を把握したほうが確かな決断ができると思います。薬剤師が決断するようになると、その分責任も重大になるでしょう。ここで薬剤師は逃げるのか突き進むのか、問われていると思います。薬剤師が自分で患者さんの状態を確認し決断できれば、薬物療法の個別化が進みます。患者さんの個々の状態に合わせた薬物療法の個別最適化は、医療の質の向上につながります。医療の質の向上＝日本の医療が変わる、だと思います。薬学6年制になった薬剤師の存在意義は、正にこのことだと思います。そして我われ薬剤師がバイタルを学ぶ意義も、ここにあります。

漢方薬認定講師育成セミナー

在宅業務・店頭において、自信をもって
漢方薬の提案・推奨ができる薬剤師を目指す

患者さんに寄り添って、
日々の業務の現場で実践するために。

一般社団法人日本在宅薬学会 理事の狭間紀代です。私は薬局を開局して41年間、薬剤師になって52年間、漢方薬にかかわって参りました。医療介護の現場に日々多忙を極めておられる薬剤師の先生方に私なりの現場での実例のご報告を兼ねて、漢方セミナーを開催しております。著名な伝統の有る書籍に則っての漢方理論の修得もまた非常に大切なことを忘れてはなりません。

日本在宅薬学会の漢方セミナーは漢方薬を難しく考えないで、3つの体質（瘀血症・臓毒症・解毒症）に分けることから考えます。

患者さんに寄り添って、日々の薬剤師業務の現場で先ずは実践出来るようにするにはどうしたら良いのかを、一緒に学んでいきましょう。



漢方薬認定講師育成セミナーの目的

1. 在宅業務においての各症状に関し医師への的確な漢方処方提案可能な力を持てるようになること。
処方のベースに漢方薬を使えば減薬に繋がらないか？と考えていく。
2. 店頭において患者さん、お客さんに自信を持って漢方薬を推奨出来るようになること。



認定要件

インストラクター認定は、基礎編前期・基礎編後期・応用編それぞれに3回の講義と、各3回目の講義終了後に試験がありますので、すべて受講することでインストラクターと認定させていただきます。
ディレクター認定は、インストラクター認定後、基礎編と応用編を受講していただき、認定となります。

インストラクター認定

基礎編 前期

基礎編 後期

応用編

認定

基礎編 前期・後期・応用編それぞれに、講義3回と試験があります。

ディレクター認定

インストラクター認定後

基礎編

応用編

認定

基礎編は講義3回（試験なし）、応用編は講義3回と試験があります。

症例検討会やスイーツタイムで、仲間とともに学べる内容となっています。また、受講期間中は講師にメールにて相談が何度でも可能です。

症例
検討会

スイーツ
タイム

仲間の
獲得

メール
相談可

学術大会



全国から1,600名を超える医療従事者が一堂に会する学びの場!

医療人が一堂に会し、実践に向けた学びを共有する。

日本在宅薬学会では、医療に従事するさまざまな職種の方々が共に集い、情報共有を行う学びの場として、学術大会を年に1回開催しております。名だたる先生方による講演が行われ、医師、薬剤師、看護師、介護士などさまざまな職種の医療従事者が全国から集まります。講演後の懇親会では、参加された全ての方々が交わって情報や未来の医療への想いを共有され、会場は大変な熱気に包まれます。

当学会員専用の「e-ラーニング」では、これらの講演の一部を動画として配信しております。当日ご参加いただけなかった方も、閲覧することが可能です。サービス内容等、詳しくは16ページをご参照ください。



第11回 学術大会

第11回

『在宅薬学』の夜明け

～その実践とエビデンスの構築に向けて～

日時

2018年7月15日(日) 16日(月・祝)

会場

グランキューブ大阪
大阪府立国際会議場

大会サイト

<http://congress.jahcp.org/>

大会会長



狭間 研至
一般社団法人 日本在宅薬学会
理事長

実行委員長



橋田 亨
地方独立行政法人神戸市民病院機構
神戸市立医療センター中央市民病院
院長補佐・薬剤部長 治療・臨床試験管理センター長

第12回 学術大会

日時 2019年7月14日(日)～15日(月・祝)

会場 名古屋国際会議場

在宅療養支援認定薬剤師制度

**薬剤師としての知識、技能、マナーを高め、
共同薬物治療管理を実践できる薬剤師を目指す**

次代を担う薬剤師の 知識・技能・態度を伸ばし更なる活躍を。

日本在宅薬学会では、2013年4月1日より在宅療養支援を行うすべての薬剤師の皆様に向けた認定薬剤師制度を開始しました。

超高齢社会の到来を迎え変貌する社会医療ニーズに対応するために薬剤師としての知識、技能、態度の3項目を修得し、良質の医療を提供することを目的として、在宅もしくは、居住系施設で療養されている要介護高齢者の薬物治療、及び、がん患者さんに薬剤師の専門性を生かしたより良質な医療を提供し、社会的要請に応えるために、他の医療職種と情報共有を密にしながら、チーム医療の一員として、国民の保健・医療・福祉に貢献できる「認定薬剤師」を育成することが目標です。

一般の方も受講していただけますので、ご参加をお待ちしております。



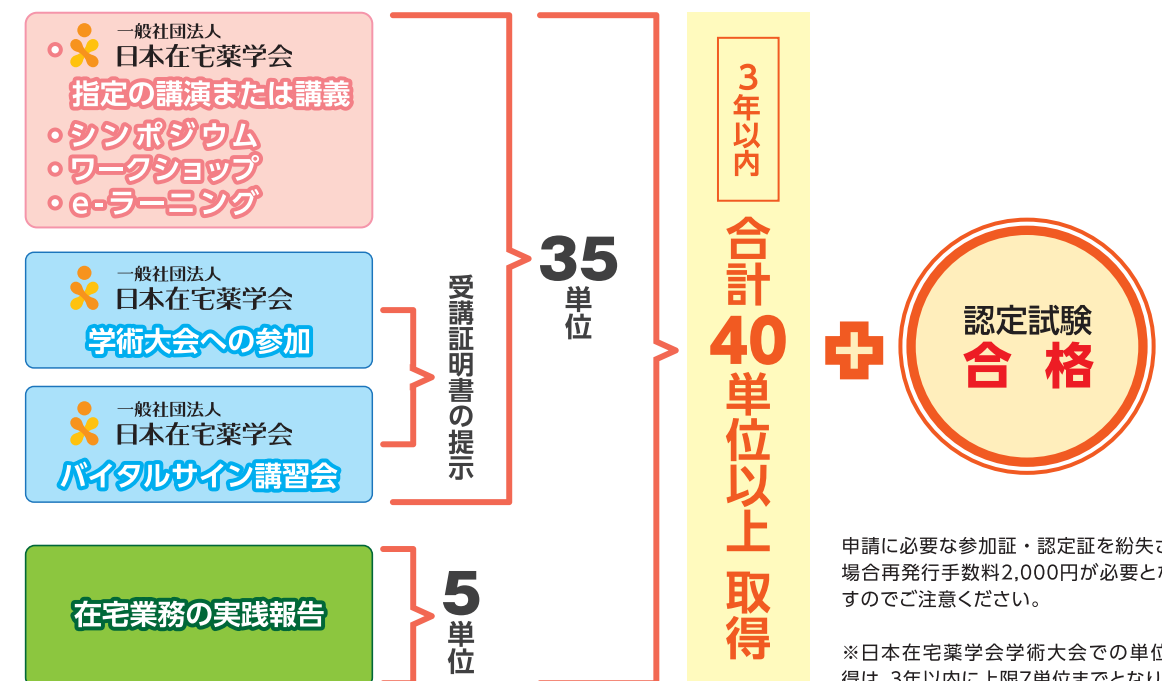
認証番号 P03

公益社団法人薬剤師認定制度認証機構(CPC)より認証薬剤師の方には日本在宅薬学会認定単位(P03)3単位が付与され、かかりつけ薬剤師の要件である、認定薬剤師申請の際に必要な他の日本薬剤師研修センター(G01)や日本病院薬剤師会(P04)などと相互に単位互換があります。 ※ただし、いずれか一つのみに単位は有効



認定要件

薬剤師認定制度認証機構により認証された生涯研修認定制度による認定薬剤師または日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師または日本医療薬学会認定薬剤師であり、薬剤師免許を有し3年間以上の薬剤師実務経験者であれば下記の単位取得により日本在宅薬学会在宅療養支援認定薬剤師の認定を受けることができます。



申請に必要な参加証・認定証を紛失された場合再発行手数料2,000円が必要となりますのでご注意ください。

※日本在宅薬学会学術大会での単位の取得は、3年以内に上限7単位までとなります。

パートナー制度



**パートナーを活用し、
薬剤師が患者をみる環境を構築する**

パートナーは薬剤師の 時間と体力と気力の創出を行う

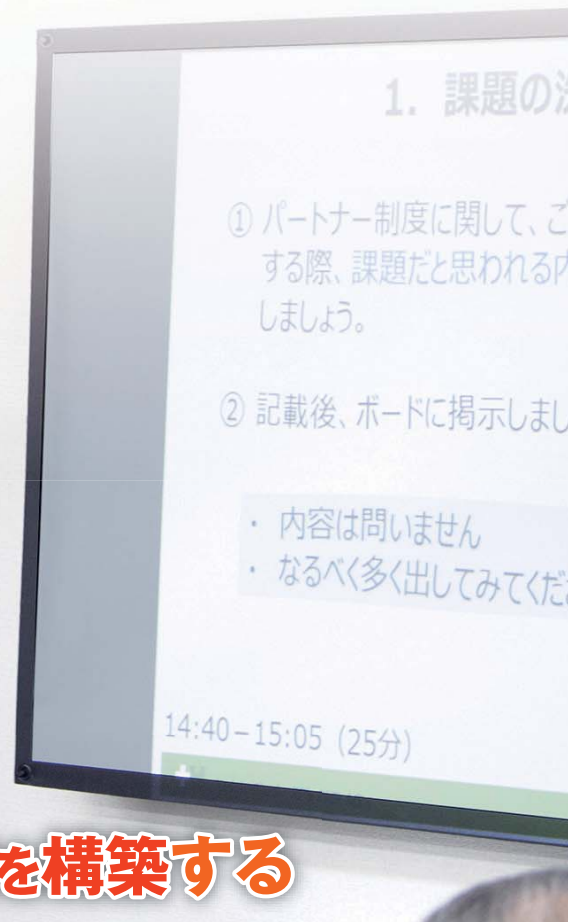
現在、我が国の高齢化率は25%を超え、今後ますます超高齢社会が進んでいきます。2025年には高齢化率が30%を超えると予想され、日本の医療形態も医療機関から在宅・介護施設へとシフトしてきています。

2015年に厚生労働省から示された“患者のための薬局ビジョン”を実現するためには、薬剤師が薬を飲んだあとの患者の状態を把握すること、患者の状態を薬学的にアセスメントし改善策も含めて医師にフィードバックすることなど、薬剤師が患者をもっとみれる環境の構築が重要であると考えられます。

そこで、生まれたのが、薬剤師をトータルに支える『パートナー』です。パートナーは、薬剤師の本質的業務以外を担い、薬剤師が対人業務に専念する時間・体力・気力の創出を行います。

安全性を担保しつつ、パートナーを活用し、薬剤師が患者をみる環境を構築する。その結果として薬物治療の質的向上を図り、患者さんに健康をお届けすることができる、これこそがパートナー制度設立の目的です。

この目的から逸れることなく、『パートナー』という新しい職種の確立と育成を進めていきたいと考えています。



◆パートナー制度のノウハウを身に付けるための各種セミナー

1 パートナー制度導入セミナー

対象：薬剤師、非薬剤師、薬局経営者

パートナー制度の総論、方向性や考え方、導入のノウハウを学ぶためのセミナーです。講義とフリーディスカッション、参加者からそれぞれに明日から取りかかると発表していただいたあと、講師より正しい導き方を具体例を挙げてお話させていただきます。

2 パートナー検定セミナー

対象：非薬剤師（調剤事務員）

パートナー業務の知識、技術およびマインドを学びパートナー検定の合格を目指します。在宅業務に関わっていない薬局、非薬剤師も「薬剤師が外来業務で患者をみる」ことが出来るように素晴らしいパートナーを目指して頂きたく、どなたでも受けることができるセミナーとなっています。

3 パートナー検定

対象：非薬剤師（調剤事務員）

薬剤師と協業していける人材「パートナー」を創出し、パートナーの質の担保を目的とします。薬剤師がチーム医療の中で協業するためには、パートナーとの連携がとても重要です。パートナーとしての考え方、知識、技術を備えた人材を育成し、あるべき姿に向けて検定試験を行います。

4 薬局マネジメント3.0セミナー

対象：薬局経営者

薬局経営者を対象としたパートナー制度導入等についてのセミナーです。薬局経営者でもある日本在宅薬学会 理事長の狭間研至が、経営的視点から、パートナー制度を導入するためのセミナーを行います。

パートナーシンポジウム

地域包括ケアの実施、拡充が進められる中、薬剤師もチーム医療の一員として在宅現場に出て、多職種と協業することが強く求められています。このシンポジウムでは、薬剤師だけでなく既に現場で活躍している「パートナー」にも登壇していただき、その業務の実際や今後の展望などについても考えていきます。



e-ラーニングサービス



**薬剤師のスキルを伸ばす
※
100以上の単元を系統立てて効率よく学ぶ**

※単元数は2016年8月時点での予定です。

会員専用無料コンテンツで 一流の医学・薬学を効率よく学ぶ。

執筆・講演活動などで精力的に活動される先生方の講義を、1対1で受けられます。

系統立てたコンテンツをご用意しており、本会独自の在宅療養支援認定薬剤師資格取得に必要な知識ばかりなので、どんな薬剤師でも生涯学習の一環としてスキルアップを目指せます。

他のe-learningよりも少し長めの時間設定なので講義を細切れで見るとはならず、集中して一気に学ぶことができます。

一度に見られなくても、受講状況が記録されますのでいつでも続きから学習が可能です。



認定薬剤師認定単位取得e-ラーニング コンテンツ一覧

医薬分業の現状と歴史
「調剤薬局」というビジネスモデル
日本における地域医療の現状と課題

一般社団法人 日本在宅薬学会 理事長 狭間 研至

みんなで学ぼう はじめての在宅療養支援業務 レッスン1 訪問開始までの準備と段取り

株式会社タカサ 在宅療養連携支援室 室長 高崎 潔子

患者さんとのコミュニケーション基本編 忘れてはいけない4つのポイント
コミュニケーションの基礎2 対応が難しい患者さんとのコミュニケーションのポイント1

帝京平成大学薬学部 教授 井手口 直子

健康サポート薬局に求められる OTC医薬品の選び方・勧め方1、2

株式会社ファーマスティモリ薬局 坂口 眞弓

「統合医療」とは？ ～どう向き合っていけばよいのかを科学的根拠に基づいた医療で考える～

大阪大学大学院医学系研究科統合医療学寄附講座 准教授 大野 智

在宅・居住施設への服薬支援の実践-多職種連携・協働の役割①、②-
地域医療構想と地域包括ケア
学術論文や学会発表の抄録作成に向けた第一歩-実際の報告例を基に考える～

長崎大学薬学部/有限会社開生薬局 手嶋 無限

注射剤・輸液製剤の基礎1、2

千葉科学大学薬学部 教授 生城山 勝巳

認知症を“散策”する(前半)(後半)
Depressionを“散策”する(前半)(後半)
統合失調症を“散策”する(前半)(後半)

藤代健生病院 薬剤部 石田 悟

OTC医薬品・サプリメント 販売における法的注意点
薬局店頭での自己採血の法的注意点

中外合同法律事務所 弁護士 赤羽根 秀宜

神経変性疾患

つちやま内科クリニック 土山 雅人

医療・介護保険制度のあらまし
一章 介護保険制度の概要
二章 ケースに基づく適応制度と申請
三章 介護保険の適用・HowTo

松井調剤薬局まつばら 豊田 義貞

救急医療①、②～輸液から考えるバイタルサイン～

医療法人社団弘仁勝和会 勝和会病院 救急認定薬剤師 出口 弘直

緩和医療概論
包括アセスメント、疼痛アセスメント

慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター 専任薬剤師 金子 健

薬物動態は難しい? ～広く浅くとらえるためのチェックポイント～
副作用機序別分類

どんぐり未来塾 太田 貴之

消化器疾患(消化管、肝胆脾)

上尾中央総合病院 上席副院長 上野 聡一郎

地域におけるリハビリテーション専門職との連携

上尾中央医療専門学校 教育部 理学療法学科 加藤 研太郎

大学での在宅チーム医療教育の取り組みと展望

昭和大学医学部 薬理学講座医科薬理学部門 木内 祐二

アルツハイマー型認知症とその他の認知症
薬のケアと最適化

医療社団法人 至高会 たかせクリニック理事長 医学博士 高瀬 義昌

最近の薬局政策について(在宅も含めて)薬局クライシスをチャンスに変えるために

日本医療政策機構理事 大阪大学大学院医学系研究科招聘教授 宮田 俊男

など多数公開中! ※記載のご所属はe-ラーニング収録当時のものです。

いつでも、どこからでも 薬剤師のための動画を見放題

e-ラーニングで配信される動画は在宅療養支援認定薬剤師資格取得のためだけではありません。パソコンとインターネット回線さえあれば、いつでも、どこからでも薬剤師の生涯研修に役立つ動画をご覧いただくことができます。

毎年開催される「日本在宅薬学会学術大会」の講演の様子も、会場の雰囲気をもそのままに、スライドを確認しながら学習できる「復習コンテンツ」として続々配信中です。

医学・薬学全般にわたる一流の講義を今後も各種取り揃えてまいりますので、ぜひ日本在宅薬学会にご入会ください。

日本在宅薬学会の「e-ラーニングサービス」は、ファルメディコ株式会社の学習動画システム「学楽(マナラク)」を利用してあります。

◆サービスご利用方法

日本在宅薬学会へご入会後、e-ラーニングサービスをご利用いただける状態になります。



ご利用にはホームページよりログインを行ってください。



学術大会復習コンテンツはページ下部のパナーをクリックしてください。

会員様の声

日本在宅薬学会満足度調査で、多くの会員様からお寄せいただいた声の一部をご紹介します。

Q1 入会して良かった点、うれしかった点があれば教えてください

- 皆様の熱気にあてられて、モチベーションがあがりました。**イノベーター？ になれるといいな。**
- 自分の考えが間違いではなかったということ。**閉塞感をまさに打破する解答**を得る機会になったことに感謝します。また、全国にいろんな思いをもつ仲間と接する機会を与えていただいたこと。
- モチベーションとスキルのダブルアップ**がうれしい!
- 薬剤師の職能の大きな発展と将来性を感じることができました。**エネルギーを頂きました。**
- 同じ考えや同じ悩みを持つ、医療職種の多くの方との出会いのきっかけを与えていただけたことに感謝。
- メーリングリスト**から、情報を得ることができる。
- メーリングリストを通じて、在宅医療や薬局の立ち位置に関する**現状や問題点が把握できる**ようになった。
- 在宅医療を本気で目指す**多くの薬剤師に出会えたこと。
- 薬剤師の職能拡大のための**皆様の熱い思い**を感じることができ、自分自身の行動を省みることができる。
- 在宅活動に対して、**積極的に頑張っている薬剤師**がたくさんいることを実感できる。
- 在宅療養支援の現状や課題、これからの解決策などが学べた。狭間先生をはじめ将来の日本の医療の質向上を志す**全国の先生方の仲間になれた。**
- 人脈というか、**ネットワークが広がりました。**入会しなければ知り合う術もない方々とお知り合いになれました。
- 全国に薬剤師を含めた**色々な方々との交流**を深めることができるようになったこと。
- 在宅をはじめ**薬剤師の将来の姿が具体的に把握できる**こと。横のネットワークが広がること。新しい情報が入ること。

Q2 シンポジウム(学術大会)に参加された感想をお聞かせください

- 皆様が最先端を走っておられ、とても勉強になりました。参加された方のレベルが高く話していて楽しかった。自分も頑張らねばと思いました。**最先端に行くものは風あたりが強いですが、仲間で励ましあえば乗り切れる?**
- 各分野のトップランナーのお話はとても勉強になりました。**ワクワクする内容でした。**
- 一言、「やる気」を頂きました!!!
- 参加するたびに、**薬剤師でよかった**と思えます。
- とても身に付きました。**懇親会に出なかったことを悔やんでいます。
- 自分の知らない事だらけでもっともっと知識を取得して実際の**在宅の現場で生かせたら**と思っています。
- とてもためになりました。**次回も参加させて頂きたいと思います。
- 毎年参加者が増加しており**取り組みが全国的に広がつつある**ことを実感しています。我々卸も負けないよう本業の高度化で貢献しなければと痛感。
- 全国で活躍されている先生方のお話を聴ける機会を提供していただいたこと。また、懇親会にて直接お話をする機会を提供していただいていることに感謝します。

Q3 その他お気づきの点などがあれば、お聞かせください

- 来年中には**バイタルサインディレクター**とります!
- 地域格差が大きいと感じますが、在宅医療における薬剤師の責務や役割が**どの地域でも同じレベルで展開**するにはどのようにしたらよいか、ともに考えていきたいと思っています。
- バイタルサイン講習会やシンポジウムでは、インストラクターやスタッフのみなさんの心遣いに感激しました。そういう思いを持つ薬剤師をひとりまたひとり育てていけたらと思います。ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。



一般社団法人 日本在宅薬学会 入会のご案内

本当の地域医療を学ぶ。本当の地域医療を伝える。

当学会は、薬剤師の職能拡大・薬局の機能拡張を通じて、多職種連携・情報共有を基盤とした超高齢社会における新しい地域医療システムを構築し、広く社会に貢献することを目的として設立されました。

日本における地域医療の早期整備に向け、学術大会、各種講習会、e-ラーニングサービスを活用した学びの場を設けておりますので、あらゆる職種の医療従事者の方の参加をお待ちしております。

会員限定、4つの特典!

会員特典 1

当学会の主催する学術大会、各講習会などに、優先的に予約をお取りいただけます。優先予約枠だけで満席になる人気の講習会等に、より参加しやすくなります。

会員特典 2

当学会の主催する学術大会、各講習会などに、一部会員優待価格でお申し込みいただけます。過去の学術大会では一般価格より3割程度の割引となっております。

会員特典 3

メーリングリストでは、医学・薬学の最新情報を定期的に配信しております。医療従事者として見逃せないニュースを簡単にチェックすることができます。

会員特典 4

無料のe-ラーニングサービスをご利用いただけます。数も、質も充実した医療コンテンツで、皆様の学びを徹底的にサポートします。

年会費・入会方法について

会員区分	入会金	年会費
正会員 (薬剤師・医師・歯科医師看護士及びその他医療に関係する職種の方)	無 料	10,000円
学 生		1,000円

※入会期間はご入金いただいた月から12ヶ月間となります

日本在宅薬学会へのご入会は
ホームページから!



<http://jahcp.org/>

日本在宅薬学会

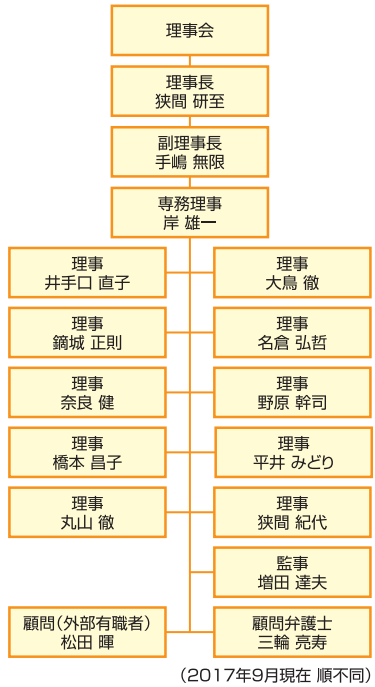
検 索



一般社団法人 日本在宅薬学会

組織図

組織名	一般社団法人 日本在宅薬学会
理事長	狭間 研至 (医師・ファルメディコ株式会社 代表取締役)
副理事長	手嶋 無限 (薬剤師・アイビー薬局 取締役・副社長/長崎大学薬学部)
専務理事	岸 雄一 (薬剤師・医療法人嘉健会 思温病院 薬剤部 薬剤部長)
理事	井手口 直子 (薬剤師・帝京平成大学薬学部 教授/博士(薬学))
	大鳥 徹 (薬剤師・近畿大学薬学部 准教授)
	鍋城 正則 (薬剤師・株式会社アポロン 代表取締役)
	名倉 弘哲 (薬剤師・岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 救急薬学分野 教授)
	奈良 健 (薬剤師・株式会社サン薬局(横浜) 在宅薬物治療支援部長)
	野原 幹司 (歯科医師・大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学教室 准教授)
	橋本 昌子 (薬剤師・株式会社スパテル 代表取締役)
	平井 みどり (医師・薬剤師・神戸大学 名誉教授)
	丸山 徹 (薬剤師・熊本大学薬学部 医療薬剤学分野 教授)
	狭間 紀代 (薬剤師・ファルメディコ株式会社 代表取締役 会長)
	増田 達夫 (PHB Design株式会社 取締役)
監事	三輪 亮寿 (三輪亮寿法律事務所 所長/弁護士)
顧問弁護士	松田 暉 (医師・大阪大学名誉教授・公益財団法人神戸国際医療交流財団理事長)
顧問(外部有識者)	43名



活動

1. 在宅療養支援に関する薬剤師の教育

- ・在宅療養支援に必要な薬剤師教育プログラムの開発と施行
- ・高齢者医療・高齢者介護施設や在宅療養時に必要な、実務・医学的知識・関連法規・接遇マナーに関する教育の開発と実施
- ・「在宅療養支援認定薬剤師制度」の発定と充実
- ・当学会の講習を修了した者を「在宅療養支援認定薬剤師」と認定する事を目指す

2. 在宅療養支援を行うための環境の整備

- ・居宅療養管理指導に必要な書類などの統一フォーマットの策定
- ・厚生労働省指導のもと、薬剤師が居宅療養管理指導を行う際必要となる、手続きや書類の考案・作成
- ・行政・薬業界への情報発信
- ・6年制薬学教育カリキュラムに含まれる在宅関連業務に関する教育内容提案
- ・長期持続可能な経営スキームの策定

事務所所在地

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-9-5 山西屋・西孫ビル3F TEL：06-4801-9566 FAX：06-4801-9556

● 理事ご挨拶



手嶋 無限 (薬剤師・アイビー薬局 取締役・副社長/長崎大学薬学部)

薬剤師の活動の場は薬局以外にも広がって、以前、ある医師から言われた「薬剤師は薬の局から出てきなさい!」の実践が、今まさに求められているように感じます。生活視点や臨床的知見に基づいた処方提案など、他職種とも連携した形で、地域ぐるみの支援として提供できればと考えております。日本在宅薬学会では、様々な現場で「決断できる医療人」としての実践に何かが必要かを、会員の先生方と共に考え歩んでいきたいと思ひます。



岸 雄一 (薬剤師・医療法人嘉健会 思温病院 薬剤部 薬剤部長)

「伝える!動かす!」これが私の日本在宅薬学会での活動テーマです。薬剤師に薬学的アセスメント能力の重要性を伝え、立地依存の業務から人材依存へと動かす。薬剤師が薬物療法に責任を持つと貰が向上することを伝え、医師と薬剤師の協同医療へと動かす。薬剤師の役割を国民に伝え、信頼のある職種へと動かす。同じ志を持つ薬剤師仲間を増やし、日本の医療と一緒に改革したいと思ひます。薬剤師が変われば医療が変わる!



井手口 直子 (薬剤師・帝京平成大学薬学部 教授)

薬剤師の仕事はこの30年間ひたすら進化していると言ってもいいでしょう。それについて行くだけでなく、自ら創出できる薬剤師がこの学会には沢山います。薬剤師が能動的に行動し続けるエネルギーを、この学会で感じてください。素な道ではありません。しかしここには共に歩む「仲間」がいます。互いに切磋琢磨し、その後は美味しい酒を酌み交わす。そしてまたそれぞれのフィールドで実践あるのみ! “薬剤師はもっと輝ける!!”



大鳥 徹 (薬剤師・近畿大学薬学部 准教授)

国が現在推進している「地域包括ケアシステム」に見られるように、わが国の医療は「施設完結型医療」から「地域完結型医療」へとシフトしようとしています。このような状況の下、われわれ薬剤師は在宅医療への取り組みを強化し「地域医療包括ケアシステム」の中で医薬品の適正使用のためにその責務を果たす必要があります。さあ! 在宅薬学会の会員のみなさん、一緒に薬局を飛び出して患者さんに見える薬剤師としてがんばりましょう!



鍋城 正則 (薬剤師・株式会社アポロン 代表取締役)

日本在宅薬学会にて知り合えたご縁のある薬剤師の皆様へ時代はどんどん変化して行きます。薬剤師の業務もどんどん変化して行きます。その流れに乗って行く必要があります。日本在宅薬学会は、狭間研至理事長を筆頭に種々なお役に立つ活動を進めてまいります。皆様の力を結集して、時代の変化に乗りスキルアップと一緒に回り、理想を現実にして素敵で明るい未来の為に頑張りますのでご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



名倉 弘哲 (薬剤師・岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 救急薬学分野 教授)

この度、日本在宅薬学会理事を拝命いたしました。大役を仰せつかり身の引き締まる思いではございますが、使命を全うすべく全力を尽くす所存でございます。全国の薬剤師の皆様が、これまで以上に国民の期待に応えられるよう、狭間理事長が理想とする薬剤師による地域医療イノベーションを一元となって創出して参ります。理事就任にあたり、大学教員として日本在宅薬学会の一層の発展に寄与いたしますので、今後とも、皆様方のご指導ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



奈良 健 (薬剤師・株式会社サン薬局(横浜) 在宅薬物治療支援部長)

薬剤師を取り巻く環境は、時代の背景に合わせて劇的に変化し続けています。しかし、どの時代においても「健康でありたい・幸せでいたい」という市民の皆さんのニーズは普遍的で、このニーズに真正面から向き合い、「お薬を渡すまで」そして「お薬を渡してから」というどちらが欠けても成立しない「医療者としての薬剤師」としての責任を自覚し、一歩でも実践するところからはじめていきましょう。そこには自然と、患者さんに対する思いやりと他職種の医療スタッフに対する尊敬、そして自己の「心・技・知」の能力開閉に対する奮起が必ず生まれます。それらを、患者さんと自分の想いをかなえるために、全国の仲間とともに大きく育てていきましょう。



野原 幹司 (歯科医師・大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学教室 准教授)

「医療のど真ん中で勝負できる薬剤師を増やすこと」これこそ私が日本在宅薬学会でやりたいことです。在宅という場合は医療リソースに限られています。関わる全職種が、できる限りの知識と技術を持ちあって患者さんを支えるのが在宅医療です。そんな中で「薬学の視点をもって堂々と他職種とディスカッションして最高の医療を提案・提供できる」という薬剤師が求められています。そんな薬剤師が増えるよう取り組んで行きます。



橋本 昌子 (薬剤師・株式会社スパテル 代表取締役)

「医療や介護が必要になっても住み慣れた地域での生活」を支えるには、医療と介護の協働(複数の主体が目標を共有しともに力を合わせて活動すること)が必要です。利用者と家族のQOL向上のために、薬剤師として何ができるか、医療人として何ができるか、人として何ができるか。この3つの視点が大切だと思います。「なぜ・どうして」という探究心と行動ができる薬剤師になるために、研究マインドを持ち続けましょう。



平井 みどり (医師・薬剤師・神戸大学 名誉教授)

在宅医療といえは、薬剤師を持ち上げて、皆がやりたがらない仕事をさせようという動きがあるようにひねくれ者の私には思えてなりません。薬剤師の仕事は元来、市民の健康を守ることだと思います。寝たきりの介護を中心とする形ではなく、健康生活を送るためのサポートができる在宅医療が行われるような社会を作っていくことが薬剤師の課題であり、在宅薬学会のミッションだと思っています。バラ色ではなくとも、せめて何々人が自分らしく満足して暮らせる未来を信じて、今日を頑張ってください。



丸山 徹 (薬剤師・熊本大学薬学部 医療薬剤学分野 教授)

世界に先駆けて超高齢化社会を迎える本邦では、在宅医療における薬剤師の活躍が必要不可欠となってきます。本学会は、世界で初めて在宅医療におけるファーマシューティカルケアの確立を目指すとともに、薬剤師が地域における医療科学者として活躍すべく、会員の皆様のを包括的に支援して行きます。私も、大学人の立場から、教育(卒前・卒後)と研究を通じて本会に貢献します。



狭間 紀代 (薬剤師・ファルメディコ株式会社 代表取締役 会長)

日本在宅薬学会会員は「在宅薬学」を、と一緒に考え「クスリは服んでから勝負」の考えを根幹に、同志の皆様と切磋琢磨し、業務の質の向上の為に学び続けています。「患者のための薬局ビジョン」をもとに「対物業務から対人業務へ」在宅療養支援現場で薬剤師はどのように有るべきかを模索しながら、これからも実践し続けます。志を共感しながら実践出来る医療介護従事者のお仲間のご入会をお待ちしております!